

ケアプラン策定のための課題検討用紙 ～考え方・検討の仕方・書き方～

使用した課題分析手法名:

項目	細目	チェック	検討が必要な具体的状況	原因	利用者(家族)の意向	自立に向けた可能性、必要性	生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	ケアの方向性
1 健康状態	① 既往歴		介護支援をする上で検討する必要がある、病気、怪我、症状、痛み、治療の状況等を具体的に書きます。主治医からの指示がある場合にはその内容を書きます。	病気の管理が必要な理由、怪我・症状・痛みの原因を書きます。	病気、怪我、症状、痛み、健康等に関する利用者(家族)の意向を書きます。	治すのか、予防するのか、様子を見るのか、健康になりたいのか、病気・薬の管理が必要なのか、自立支援を念頭に、前向きに検討して書きます。	可能性、必要性、希望に沿って、前向きに生活できるような課題を書きます。	今後どのように支援していくのか、その方針を書きます。
	② 主傷病							
	③ 症状							
	④ 痛み							
	⑤ その他							
2 ADL	① 寝返り		ADL支援が必要な状態を具体的に記入します。 ※動作を細かく分割してみると、どこまで出来て、どこから支援が必要なのか理解できます。	病気、怪我、廃用性、薬の副作用等、ADLの支援が必要になった原因を記入します。	利用者本人と家族それぞれの意欲・想い、望む生活動作、活動の意向を書きます。	治るのか・改善するのか・元に戻るのか・維持するのか・転倒などの危険を防ぐのか・低下を遅らせるのか・器具を使うのか・補うのか・活動したいのか・参加したいのか、機能・意欲・希望・環境に配慮して前向きに可能性を検討して書きます。	<p>～課題設定の方法～</p> <p>「生活全般の解決すべき課題(ニーズ)」の設定は、介護支援専門員の専門性が必要とされる重要なポイントです。自立支援を念頭に置き、現状分析と、利用者本人(家族)との話し合いにより、出来るだけ前向きな生活ができるような課題設定をすることが必要です。</p> <p><b>1 厚生労働省の説明</b></p> <p>① 記載要領(厚生労働省通知) 「利用者の自立を阻害する要因などであって、個々の解決すべき課題(ニーズ)についてその相互関係をも含めて明らかにし、それを解決するための要点がどこにあるかを分析し、その波及する効果を予測して・・・」</p> <p>② 書き方 1) 自立支援を目指す計画ですから、ニーズの欄には、「◎◎できるようにしたい」「◎◎したい」というように、利用者が主体的・意欲的に取り組めるような書き方のほうが良いでしょう。 2) 背景要因を書くと「○○のため○○できない」のように、ネガティブな表現になりやすいので、「○○したい」とできるだけ簡潔に書くほうが良いでしょう。</p> <p><b>2 「簡潔に」「～したい」という課題設定をするための要件</b></p> <p>① 課題分析を充分に行い、根拠(問題、原因、可能性など)を明確にしておくこと。 ② 利用者(家族)と十分に話し合いをして、合意の得られる内容にすること。 ③ 課題分析から得られた必要性と利用者(家族)の希望が一致していること。(単なる御用聞きにならないこと。意思確認が不可能な場合は必要性を優先する。) ④ サービス担当者会議で課題設定の理由(根拠)を説明するか、課題分析</p>	同上
	② 起きあがり							
	③ 移乗							
	④ 歩行							
	⑤ 着衣							
	⑥ 入浴							
	⑦ 排泄							
	⑧ その他							
3 IADL	① 調理		IADL支援が必要な状態を具体的に記入します。「している」動作と「できる」動作に違いがあれば、整理して書きます。また、家族がいても支援が必要な場合はその状況も書きます。	病気、怪我、廃用性、薬の副作用等、IADLの支援が必要になった原因を記入します。	家事等に関する、利用者本人と家族それぞれの意欲・想い、望む生活の意向を書きます。	補う(代わりにする)のか・自分で出来るようにするのか・一緒にするのか・改善するのか・維持するのか・器具を使うのか、機能・意欲・希望・環境に配慮して前向きに可能性を検討して書きます。	同上	
	② 掃除							
	③ 買物							
	④ 金銭管理							
	⑤ 服薬状況							
	⑥ その他							
4 認知	① 日常の意思決定を行うための認知能力の程度		「理解」「意思決定」「記憶」等、認知の程度を、どこまで出来てどこから出来ないか具体的に理解して書きます。	急性期・慢性期、せん妄・痴呆・知的障害・精神障害・環境変化等、原因を書きます。	利用者の理解に合わせた意欲・想い、家族の意向を書きます。	改善するのか・低下を遅らせるのか・補うのか、対応を改善するのか、出来るところを見つけて自立支援を念頭に、前向きに検討して書きます。	同上	
5 コミュニケーション能力	① 意思の伝達		コミュニケーション障害の程度、治療の状況等を具体的に書きます。	障害の原因となる病気・要因を書きます。	利用者(家族)の望む、コミュニケーションに関する意向を書きます。	治るのか・治療するのか・器具を使うのか・補うのか、どのような対応をすれば不自由しないか・伝わるか等、効果的なコミュニケーションの方法について、機能・意欲・希望に配慮して前向きに可能性を検討して書きます。	同上	
	② 視力							
	③ 聴力							
	④ その他							
6 社会との関わり	① 社会的活動への参加意欲		社会との関わりの状態や変化が、生活にどのような影響があるか(心気・悲しみ・心配・無気力・うつ等)を具体的に書きます。	社会的関わりに関する問題の原因を具体的に書きます。(家族・環境・身体・精神の変化等)	利用者(家族)の望む生活の意向を書きます。楽しみを持つことのできる方法等を提案しながら聞く方法もあります。	社会的役割・対人関係・活動・参加の可能性、本人の適応力・好み・楽しみ・家族の想い等をふまえ、自立した前向きな考えで生活出来るよう検討して書きます。	同上	
	② 社会との関わりの変化							
	③ 喪失感や孤独感							
	④ その他							

※各手法別のアセスメントシートから得た、検討が必要な細目は、「チェック」欄に○印を付け、何を検討するのかがわかるようにして下さい。

項目	細目	チェック	検討が必要な具体的状況	原因	利用者（家族）の意向	自立に向けた可能性、必要性	解決すべき課題（ニーズ）	ケアの方向性
7 排尿・排便	① 失禁の状況		障害等のある細目の具体的状況を記入します。主治医からの指示がある場合にはその内容を書きます。	失禁の種類、廃用、病気（脱肛・痔・下痢・便秘）、痛み、介護者の都合、環境等、原因を書きます。	利用者本人と家族それぞれの意欲・想い、意向を書きます。	治療するのか、改善させるのか・低下を遅らせるのか・補うのか、出来るところを見つけて自立支援を念頭に、前向きに検討して書きます。医療的管理が必要であれば、その対応方法を書きます。	可能性、必要性、希望に沿って、前向きに生活できるような課題を書きます。	今後どのように支援していくのか、その方針を書きます。
	② 排尿排泄後の後始末							
	③ コントロール方法							
	④ 頻度							
	⑤ その他							
8 褥瘡・皮膚の問題	① 褥瘡の程度		大きさ・深さ・病名・時期・期間・経過・治療の状況等、具体的状況・程度を書きます。主治医からの指示がある場合にはその内容を書きます。	身体障害・栄養・介護状況・環境・経路等、原因を書きます。	利用者本人（家族）の意向を書きます。	早急に治すため、改善するための方法を検討して書きます。医療的管理が必要であれば、その対応方法を書きます。	同上	同上
	② 皮膚の清潔状況							
	③ その他							
9 口腔衛生	① 歯の状態		入れ歯・治療・咀嚼・保清の状況等、具体的に書きます。歯科医師等の指示がある場合にはその内容を書きます。	口腔問題の原因を書きます。	利用者（家族）の意向を書きます。	治療するのか、改善するのか・補うのか、対応を改善させるのか、検討して書きます。歯科医師等の管理が必要な場合にはその内容を書きます。	同上	同上
	② 口腔内の状態							
	③ 口腔衛生							
10 食事摂取	① 栄養		栄養不良、極度の痩せ、肥満、脱水の状況等、具体的に書きます。	食事等に関する問題の原因を書きます。	利用者（家族）の望む、食生活の意向を書きます。	治療するのか、改善するのか・補うのか、対応を改善させるのか、検討して書きます。栄養士等の指導・管理が必要な場合にはその内容を書きます。	同上	同上
	② 食事回数							
	③ 水分量							
	④ その他							
11 問題行動（行動障害）	① 暴言暴行		行動障害の状況、程度、頻度、時期、期間、経過、周囲に与える影響等、具体的に書きます。主治医からの指示、向精神薬の服用状況の内容を書きます。	痴呆（痴呆の種類）、せん妄、環境・対人関係の変化、対応等、行動障害に至る原因を書きます。	利用者とその家族の望む、生活の意向、介護の意向を書きます。 ※利用者本人の混乱を受け止め、理解できるところ、伝わる場所を見つけて意向を聞きます。	行動の理解、家族の理解、専門医による治療・向精神薬の管理、健康、不快、環境、心理・感情等を考慮し、受け入れ・認めることによる精神安定、意欲・希望に配慮して、前向きに可能性を検討して書きます。 ※意思の疎通が不十分な場合は、利用者本人の代弁者としての対応も必要になることもあります。	同上	同上
	② 徘徊							
	③ 介護の抵抗							
	④ 収集癖							
	⑤ 火の不始末							
	⑥ 不潔行為							
	⑦ 異食行動							
	⑧ その他							
12 介護力	① 介護者の有無		家族の介護力と介護量、介護量の変化、負担感の現状を具体的に書きます。	介護負担等の原因を書きます。	利用者本人と家族それぞれの意欲・想い、望む療養生活の意向を書きます。	負担を少なくして家族介護を受けることができるよう、補い・代替し・休み、器具活用、介護方法の改善等により、継続して自宅で暮らすための可能性を検討して書きます。	同上	同上
	② 介護者の介護意思							
	③ 介護負担							
	④ 主な介護者に関する情報							
	⑤ その他							
13 居住環境	① 住宅改修の必要性		介護保険の対象となる場所の他、照明・冷暖房・台所の支障等、内外の安全性等を書きます。	身体状況、行動等と関連させて支障の度合い、原因を書きます。	利用者（家族）の望む、住環境の意向を書きます。	改善の可能性、方法を検討して書きます。	同上	同上
	② 危険個所等							
14 特別な状況	① 虐待		暴力、放置、搾取等の虐待、癌の末期、特別な問題等を書きます。	背景、原因、理由を書きます。	利用者（家族）の望む、生活の意向を書きます。 ※非常にデリケートなこと	緊急性、必要性、生活意欲・希望に配慮して、可能性を検討して書きます。 ※他制度、医療、在宅ホスピス、保健	同上	同上
	② ターミナルケア							

※各手法別のアセスメントシートから得た、検討が必要な細目は、「チェック」欄に○印を付け、何を検討するのかがわかるようにして下さい。

況	③ その他		であるため、相手に十分配慮して聞きます。	行政、民間事業とのネットワークの活用も重要になります。		
---	-------	--	----------------------	-----------------------------	--	--

※各手法別のアセスメントシートから得た、検討が必要な細目は、「チェック」欄に○印を付け、何を検討するのかがわかるようにして下さい。